

「島根総合発展計画」策定の諮問にあたって

島根は、若年層の流出による人口減少や少子高齢化が進行し、地域活力の減退が懸念されています。しかし、社会の変化を踏まえると、私たちは、決して悲観すべき状況に置かれているわけではありません。

島根には、美しく豊かな自然、古き良き文化、伝統、温もりのある人間関係、ゆとりのある生活環境など、これからの成熟した社会の中で求められるものが数多く残されています。また、それぞれの地域の特色ある資源や、高度な技術が支える独自の産業、さらには新たな産業の芽吹きがあります。

一方、成熟化した社会を迎え、人々の価値観は変化しています。大都市においては、喧噪を離れて、自然の中で働きたい、子育てがしたい、と思う人々が増えています。これは、島根の存在価値を再評価し、この地域を守り、発展させる必要性に対し、国民が共感し賛同する動きにつながるものです。

従来は、弱みであったものが、強みに変わる時代が訪れようとしています。今こそ、こうした優れた資源に磨きをかけ、県内のそれぞれの地域が持つ価値と潜在能力を最大限に活かし、「島根らしい発展」「島根ならではの発展」を目指すことが求められています。この大きな目標に向かって果敢に行動を起こす上での「新しい展望」と「確かな道標」を示す必要があります。

目指すべき方向性については、次の3つの基本目標を掲げます。

活力あるしまね

地域経済が活性化し、若者が生き生きと働き、国内外との交流が盛んな活力ある社会の形成

安心して暮らせるしまね

県民誰もが、豊かな環境のもとで生涯にわたり安心して生活を送ることができる社会の形成

心豊かなしまね

ふるさとを愛し、次代を担う心豊かな人材を育成するとともに、県民が心豊かで生きがいのある人生を実感できる社会の形成

時代の大きな転換点に当たり、社会経済の変化を見据えながら、県民一人ひとりが島根に自信と誇りを持ち、総力を結集して、活力に満ちた島根を築いていくための新しい指針を示すため、「島根総合発展計画」の策定について諮問します。